

地盤品質判定士(補)および協議会関係者の皆様へ

横浜マンション傾斜問題と地盤品質判定士

横浜のマンション傾斜問題が話題になっています。

地盤工学会および地盤品質判定士協議会の事務局には、多方面から、この件に関連して様々な問い合わせや相談が寄せられています。

この内、テレビで紹介された例をご紹介します。

(1) 10月20日(火)8:30頃、テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』



横浜のマンション問題に関連して、『支持層の深さは杭ごとに変るものですか？それは横浜の特徴ですか？』という電話取材に対して、『地盤は目に見えないが、地域ごとに異なった構造となっている。横浜は、横浜としての特徴的な地盤構造となっているので、それを踏まえた地盤調査、基礎の設計・施工が要求される。横浜の支持層が起伏に富んでいるのは、横浜に精通した地盤の専門家は誰もが知っている。』といった話をさせていただきました。

(2) 10月22日(木)16:50頃、NHK総合『ニュース シブ5時』



横浜のマンション問題を考える時『地盤の専門家の立場から、どういう観点で見るべきかご意見をお聞かせ下さい』という電話取材に対して、『①事前の地盤調査結果報告書、②地盤調査報告

書に基づく基礎の設計書，③設計書を踏まえて施工した施工記録が必ずあるはずなので，この3つの関係を，地盤の専門家がきちんと精査することがすべての基本でないかと考えている。ここで施工記録というのは掘削時の電圧変化や注入セメント量だけでなく，挿入した杭の長さやその日に使ったセメント量，等，資材管理の情報を含めて！』というお話をさせていただきました。このコーナーでは，上記の話を三輪解説委員が紹介するとともに，地盤品質判定士協議会の無料相談会の件を紹介してくれました。

今回、『ところで地盤の問題はどこに相談したらいいの？』という話が出る事が多く，関係者，関係者以外を問わず，実に多くの方々が，様々な場面で『それには地盤品質判定士がいる』ことを紹介して下さったという情報が多数，寄せられています。今回の件は大変残念なことではありましたが，地盤を考えるよい機会になったと考えています。また，地盤品質判定士の認知度も一気に高まったことを実感しています。地盤品質判定士各位のご活躍を期待しています。

《追伸》

地盤品質判定士通信は，関係者の情報交換の場です。地盤品質判定士の方々からの寄稿を歓迎致します。

2015年10月28日(水)
地盤品質判定士協議会事務局